



# ブロッコリー編

病害虫注意報 2020年8月号



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

## 育苗期・定植時のおすすめ防除

この時期の防除は、残効の長い粒剤や灌注剤を用いての省力化がおすすめで  
**は種時おすすめ薬剤** **定植時おすすめ薬剤**

### プリンス粒剤

ハイマダラノメイガ

20~30g/セル成型育苗トレイ1箱  
またはペーパーポット1冊上から均一に散布  
は種時~定植前/1回



### プレバソフロアブル5

コナガ・アオムシ・ハスモンヨトウ

0.5L/セル成型育苗トレイ1箱  
またはペーパーポット1冊 100倍灌注  
定植期後半~定植当日/1回



### ミネクトデュオ粒剤

1g/株

定植時株元散布 1回

アブラムシ類・コナガ

アザミウマ類

アオムシ・ハイマダラノメイガ

40g/セル成型育苗トレイ1箱  
またはペーパーポット1冊  
は種覆土後~育苗期後半 1回



コナガ

20g/セル成型育苗トレイ1箱  
またはペーパーポット1冊  
は種時散布 1回

**注意**

ミネクトデュオ粒剤を使用した場合、  
下記の薬剤は苗場での使用ができません!!

- ベリマークSC
- ベネビアOD
- アクタラ粒剤5
- ジュリボフロアブル
- プリロッソ粒剤
- アベイル粒剤
- アクタラ顆粒水溶剤

コナガなどのチョウ目害虫やアブラムシ類に効果の高いミネクトデュオ粒剤の処理がおすすめ  
※弊社試験結果より



### 灌注処理剤の上手な使い方

- 灌注処理は定植3~5日前が最適です
- 定植数日前に処理して、十分に成分を吸わせることで高い効果を発揮します

粒剤処理2週間前後、または害虫発生時は、適宜散布剤による防除を行ってください

薬剤名	希釈倍数	使用時期	回数	散布可能な葉数
フローバックDF	1,000~2,000倍	前日(発生初期)	-	1.0葉
プレオフロアブル	1,000倍	7日前	2回	子葉
アフーム乳剤	1,000~2,000倍	3日前	3回	0.5葉
エルサン乳剤	1,000~2,000倍	30日前	2回	1.0葉

### 根こぶ病にお困りの方に!

## ネビジン 粉剤

### 根こぶ病

20~30kg/10a 1回

→ は種又は定植前  
全面土壌混和

20kg/10a 1回

→ は種又は定植前  
作条土壌混和



## おすすめ資材 植物本来の力を活性化!

光合成能力UP!

軟弱徒長株を強く!

0-28-26

## ファイトオーツ&エレマックス赤

1,000倍 葉面散布

1,000倍 葉面散布

▶ 転流量増加

▶ 毛細根の充実

▶ 抵抗性誘導物質の向上

▶ 樹を締めて徒長防止!

▶ 病害抵抗力の向上に!



肥料登録  
生第83241号

肥料登録  
輪第9423号



アルカリ性農薬、石灰硫黄合剤、アゾキシストロビン剤(アミスター)、クレソキシムメチル剤(ストロビー)、無機銅剤、ホルモン剤、液肥類との混用はさけてください